

# 公益社団法人 砂防学会東北支部 第1回研究発表会

東北支部では発足 2 年目を迎え、会員の技術力の向上と情報交換などを目的として研究発表会を実施することにしました。

第 1 回目は、岩手大学砂防学研究室の卒論中間発表会に合わせて 33 名の出席のもとで開催しました。

日時：平成 29 年 1 月 27 日（金）

場所：岩手大学農学部 2 号館

①地域と共に創りあげる歴史的砂防施設の利活用の現状と課題

～新潟県及び岩手県内の事例を対象として～

熊谷和馬；岩手大学

②火山地域における立木を含む土砂災害の減災にむけての検討 その 1

坂田貴範；岩手大学

③火山地域における立木を含む土砂災害の減災にむけての検討 その 2

中村 傑；岩手大学

④住民と共に創る土砂災害への啓発の試みについての現状と課題

～山形県立谷沢流域におけるまるごと里ごとハザードマップづくりを題材として～

坂井咲香；岩手大学

⑤土砂災害に対する地域防災力の向上にむけて

～地域と官・学が連携し、「まるごと里ごとハザードマップ」を作成～

笠原智子；東北地方整備局

新庄河川事務所

⑥砂防学会東北支部緊急調査団報告

～2016 年 8 月 30 日台風 10 号による岩手県岩泉町及び宮古市における土砂災害～

井良沢道也；岩手大学

⑦GIS を用いた崩壊・地すべり発生場の地形解析

林 一成；奥山ボーリング(株)

⑧砂防堰堤管理への 3D 導入

～i-construction としての活用を目指して～

堀口礼顕；アジア航測(株)

⑨拡散型沖積錐の特徴と成因について

池田 潤；流砂系クラブ

⑩プロジェクションマッピングを用いた被害範囲の説明事例

笠原亮一、松尾新二郎、宅見唯明、田淵陽介；日本工営(株)

